

志賀原子力発電所 2 号機

排気筒モニタ測定値の一時的欠測について

志賀原子力発電所 2 号機は、第 1 回定期検査中のところ、9 月 4 日午前 10 時 50 分頃、2 系統ある排気筒モニタ^{*1}（A 系は点検中のため停止、B 系で測定）の B 系のフィルタ交換作業を行っていたところ、排気筒モニタサンプルポンプ^{*2} B が停止しました。直ちに、停止したポンプの再起動を行い同日 11 時 02 分に復旧しました。

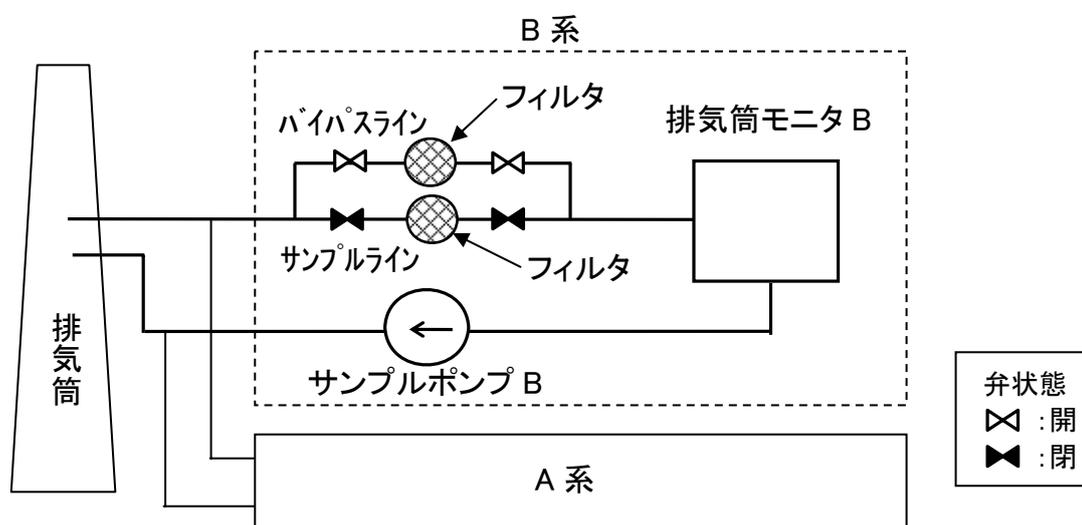
ポンプが停止することにより、排気筒モニタの指示値が一時的に欠測しましたが、欠測前後の当該モニタ指示値並びにこの間の他の放射線モニタ及びモニタリングポストの指示値に有意な変化がないことから、外部への放射能による影響はありません。

原因は、定期的実施しているサンプルラインのフィルタ^{*3}の交換作業時に、サンプルラインの弁を開ける前に誤ってバイパスラインの弁を閉めたことにより、サンプルラインの流れがなくなり、ポンプが停止したものです。

今後は、弁の開閉状態が容易に分かるよう「開」「閉」を表示した札を取り付け、操作の都度弁状態の確認を確実にすることとし、これを手順書に明記しました。

なお、片系で作業が行われている場合は、原則フィルタ交換等の作業を行わないよう、作業管理の改善を図りました。

- * 1 : 排気筒モニタ
排気筒から放出される気体中に含まれる放射性気体廃棄物の濃度を連続測定・監視するための放射線モニタ
- * 2 : サンプルポンプ
排気筒からモニタへ排気を送り込むポンプ
- * 3 : フィルタ
ヨウ素や粒子状物質の放出を測定するために設置しているフィルタ



系統概要図(フィルタの交換時の弁状態)